

## 児童生徒の安全対策は 守ることを最優先に



山崎 正男 議員

つ配置。換気機能の向上と熱中症防止対策のために、全ての特別教室に換気機能のあるエアコンを配置した。

基本的な感染症対策として、家庭と連携し、自宅で毎朝の検温及び風邪症状などを確認し、記録することを徹底している。今後の対策は、先進的な施設の視察や有効機器などの情報収集を行い、より安全な施設整備を図り、児童生徒の健康と精神的な安定対策を目指して行きたい。

**問** 児童生徒や保護者の安全対策の現状と今後の対策はどうするか。

**答** 藤本教育次長  
新型コロナウイルスの感染から児童生徒を守ることを最優先に取り組んでいる。佐賀保育所と入野小学校、大方中学校に手洗い場を増設し、学校の全ての蛇口をレバー式に交換して、衛生面での向上を図った。  
空気清浄機は、保育所と学校の各教室に1台ずつ



基本的感染症対策に充分配慮しながらの授業（佐賀中学校）

## 防災対策

**避難先の行き止まり解消を**

基準に満たない整備は困難

**問** 避難先がほとんど行き止まりでなので、町は周回できる状況まで対応すべきではないか。また、避難道にある橋

やガードや暗渠が老朽化していないか、再点検が必要ではないか。

準に満たない避難道整備は、現在のところ困難だ。

**答** 村越情報防災課長

新たな津波からの避難道の整備については、新規避難道整備基準に基づき整備している。

周回できる道が基準を満たすならば、避難道として整備していくが、基

**答** 河村建設課長  
町道に架かる橋は262橋あり、それを5年に1度、順次点検し、その診断結果をもとに必要な場合は修繕を行う。

暗渠などは、日常の職員のパトロールによる点検をしている。

## 平和の継続

**平和維持の在り方は**

遺族会と協議して進める

**問** 平和維持の追悼式典や遺族墓地の在り方、忠霊塔の設置などへの町の考え方は。

る戦争遺跡の維持管理、この3点だ。

## 青年交流

**20代からの若者交流を若い世代は財産町全体で考える**

**問** 町内の20代、30代、40代の若者交流を考えることが大事だ。

町の方向や計画の中に入れてられないか。

**答** 徳廣企画調整室長

本年度10代から40代の

24人にワークショップに参加いただき、若者の視点や感性を生かし、町の魅力を発信できるテーマなどで意見交換を実施した。多種多様な方々の交流の場になった。

今後若い世代は、町にとって重要な財産だと考える。  
町長部局だけではなく、教育委員会部局の中でも展開される内容がある。町全体として取り組みながら考えていきたい。

**答** 佐田健康福祉課長  
遺族会と協議して進めることは、遺族会の存続と平和を顕彰する記念碑建立、そして各地域に残